



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年8月3日

上場会社名 ユニフォームネクスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3566 URL https://uniformnext.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横井 康孝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 早川 光人 TEL 0776 (27) 4246
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|------|------|------|------|-----|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年12月期第2四半期 | 1,943 | 12.3 | 161 | △2.9 | 161 | 0.3 | 105 | △0.2 |
| 29年12月期第2四半期 | 1,730 | — | 166 | — | 161 | — | 105 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年12月期第2四半期 | 86.19 | 84.23 |
| 29年12月期第2四半期 | 109.55 | — |

(注) 1. 当社は、第2四半期の業績開示を平成29年12月期より行っているため、平成29年12月期第2四半期の対前年四半期増減率については記載していません。

2. 平成29年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年12月期第2四半期 | 2,884 | 1,667 | 57.8 |
| 29年12月期 | 2,229 | 1,587 | 71.2 |

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 1,667百万円 29年12月期 1,587百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期 | — | 0.00 | — | 20.00 | 20.00 |
| 30年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 30年12月期（予想） | — | — | — | 20.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年12月期の業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-----|------|-----|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,000 | 15.4 | 342 | 2.4 | 341 | 5.2 | 221 | 1.1 | 181.12 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年12月期2Q | 1,220,181株 | 29年12月期 | 1,220,181株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年12月期2Q | 33株 | 29年12月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年12月期2Q | 1,220,152株 | 29年12月期2Q | 961,704株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) キャッシュ・フローの状況 | 3 |
| (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第2四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、引き続き、企業部門、個人部門ともに緩やかな回復傾向にありましたが、雇用需給の逼迫による人材不足・人件費上昇等が及ぼす事業展開への影響が懸念される状況でした。

かかる状況の下、当社は、カタログ配布等による積極的な広告を展開し通販集客に努めるとともに、対面販売において、ユニフォームを通じた顧客企業業績の改善をテーマとして、従来よりさらに顧客の立場になって考えた提案スタイルを構築・実践し、通販も含めた当社サービスの進化にむけて取り組んでまいりました。

新社屋についても、当初計画通り着工され、まずは良好な工事進捗状況です。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,943,651千円(前年同期比12.3%増)、営業利益161,271千円(同2.9%減)、経常利益161,683千円(同0.3%増)、四半期純利益105,159千円(同0.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ654,946千円増加し、2,884,820千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ120,710千円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が75,009千円、商品が48,508千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ534,236千円増加いたしました。これは主に、社屋兼物流センター建設に関連する有形固定資産の増加539,054千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ574,348千円増加し、1,217,220千円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ265,626千円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が94,084千円、電子記録債務が53,617千円、1年内返済予定の長期借入金が79,992千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ308,722千円増加いたしました。これは主に、長期借入金が306,676千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ80,598千円増加し、1,667,599千円となりました。これは主に、四半期純利益105,159千円及び剰余金の配当24,403千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、1,717,763千円となり、前事業年度末に比べ、12,486千円減少いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、169,543千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益161,683千円、仕入債務の増加147,701千円と、売上債権の増加75,009千円、法人税等の支払額65,508千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、544,137千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出542,905千円、無形固定資産の取得による支出1,231千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、362,107千円となりました。これは主に、長期借入金の収入400,000千円、同返済による支出13,332千円、配当金の支払額24,403千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年2月8日公表の通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成29年12月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,730,250 | 1,717,763 |
| 受取手形及び売掛金 | 119,163 | 194,173 |
| 商品 | 192,672 | 241,181 |
| 貯蔵品 | 521 | 2,946 |
| その他 | 17,476 | 24,760 |
| 貸倒引当金 | △47 | △77 |
| 流動資産合計 | 2,060,037 | 2,180,747 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 88,252 | 625,522 |
| 無形固定資産 | 27,203 | 23,546 |
| 投資その他の資産 | 54,380 | 55,003 |
| 固定資産合計 | 169,836 | 704,072 |
| 資産合計 | 2,229,873 | 2,884,820 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 145,374 | 239,458 |
| 電子記録債務 | 229,872 | 283,490 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 79,992 |
| 未払法人税等 | 65,674 | 65,042 |
| 賞与引当金 | 34,959 | 37,254 |
| その他 | 144,681 | 180,950 |
| 流動負債合計 | 620,561 | 886,187 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 306,676 |
| 退職給付引当金 | 14,912 | 15,705 |
| ポイント引当金 | 7,399 | 8,652 |
| 固定負債合計 | 22,311 | 331,033 |
| 負債合計 | 642,872 | 1,217,220 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 338,159 | 338,159 |
| 資本剰余金 | 342,428 | 342,428 |
| 利益剰余金 | 906,412 | 987,167 |
| 自己株式 | — | △156 |
| 株主資本合計 | 1,587,000 | 1,667,599 |
| 純資産合計 | 1,587,000 | 1,667,599 |
| 負債純資産合計 | 2,229,873 | 2,884,820 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,730,514 | 1,943,651 |
| 売上原価 | 1,064,143 | 1,201,878 |
| 売上総利益 | 666,371 | 741,772 |
| 販売費及び一般管理費 | 500,255 | 580,500 |
| 営業利益 | 166,116 | 161,271 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 3 |
| 助成金収入 | — | 481 |
| その他 | 651 | 228 |
| 営業外収益合計 | 653 | 713 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | — | 297 |
| 社債利息 | 205 | — |
| 株式交付費 | 2,282 | — |
| 上場関連費用 | 3,132 | — |
| その他 | 7 | 4 |
| 営業外費用合計 | 5,628 | 301 |
| 経常利益 | 161,141 | 161,683 |
| 税引前四半期純利益 | 161,141 | 161,683 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 57,293 | 59,741 |
| 法人税等調整額 | △1,508 | △3,217 |
| 法人税等合計 | 55,784 | 56,523 |
| 四半期純利益 | 105,357 | 105,159 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 161,141 | 161,683 |
| 減価償却費 | 8,345 | 9,617 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 103 | 30 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 2,295 | 2,295 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 2,359 | 793 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | 1,134 | 1,253 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3 | △3 |
| 支払利息及び社債利息 | 205 | 297 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △39,646 | △75,009 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △36,169 | △50,933 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 54,595 | 147,701 |
| その他 | 17,994 | 37,622 |
| 小計 | 172,353 | 235,345 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3 | 3 |
| 利息の支払額 | △205 | △297 |
| 法人税等の支払額 | △45,374 | △65,508 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 126,776 | 169,543 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,222 | △542,905 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △4,449 | △1,231 |
| その他 | 492 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △7,179 | △544,137 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | — | 400,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | — | △13,332 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △156 |
| 配当金の支払額 | △18,696 | △24,403 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △18,696 | 362,107 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 100,901 | △12,486 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,006,594 | 1,730,250 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,107,496 | 1,717,763 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ユニフォーム販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。